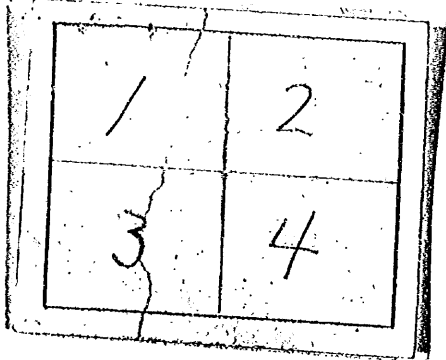


分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1412
1413
1414
1415

場所
三〇軍第一三八師團 部隊名 歩兵第三七九聯隊(四)
通稱號 不動三七二六〇
郵便所名

全般概要							轉入	轉出	員人割編									
別隊							隊長名 (内は先代を示す)	戦時 人員	平時 人員	戦時 戦時	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入ソ返の變動	隊別 計	入ソ人員	満洲 残留	收	
乘	隊中通信	隊中砲兵歩	李行隊六三第	隊小砲兵歩隊六三第	隊中銃關機三第													
右同	右同	右同	右同	右同	右同	鐵陽朝												
右同	右同	右同	右同	右同	右同	木森南												

隊名 歩兵第三七九聯隊(四)

通稱號 不動三七二六〇

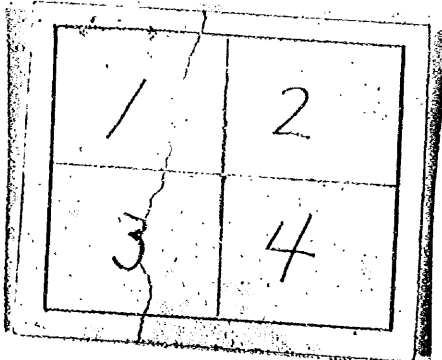
郵便所名

乗	隊中通信	隊中砲兵歩	李行隊大三第	隊小砲兵歩隊大三第	隊中銃關機三第	別隊	隊長名		駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ返の變動	隊別計	満洲残留	收容所		歸還人員	状況不明者数
							(内は先代を示す)	副							收容所名	所入死亡		
									朝陽鎮									
同	右同	右同	右同	右同	右同				木雜南									
同	右同	右同	右同	右同	右同													

李行隊聯	隊小馬乘	隊中信通	隊中砲兵歩	李行隊大三第	隊小砲兵歩隊大三第	隊中銃騎機三第
右同	右同	右同	右同	右同	右同	銃騎機三第
右同	右同	右同	右同	右同	右同	木銃

李行隊聯	隊小馬乘	隊中信通	隊中砲兵步	李行隊大三第	隊小砲兵步隊大三第	隊中砲兵步大三第
右同	右同	右同	右同	右同	右同	砲
右同	右同	右同	右同	右同	右同	六

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1416
1417

1418
1419

三〇軍 部隊名 第一三二八師團通信隊

通稱號

不動三七二六六

郵便所名

全般概要		轉入	轉出	人員編制	
二〇、八、一、於吉林編完 二〇、八、五、香山中尉以下、一五名先發として香原より進軍に向ふ 二〇、八、一五、香山中尉以下、格別工業學校に移送、開隊時人員約二五〇名 二〇、八、一六、本隊編成に移動先發隊と合す 二〇、八、一七、左滿洲省省名約三六名、右滿洲省省名約三六名、死者等約一〇名 二〇、八、二八、武庫庫庫 二〇、九、一、新地更に奉天に移動す 此の頃入院四名 二〇、一〇、五、奉天北東に於て作業大隊編成 二〇、一〇、中、墨河經由入「LAJ」		十九年以降 十九年以降	十九年以降 十九年以降	人員編制 239	隊別 本 部
隊小材器	(線有) 隊小二第	(線無) 隊小一第	部	別	隊
見士	中尉 香山	中尉 小宮山	約13	隊長名 (内は先代を示す) 大尉 北川 博	開入 戦員 平 駐屯地
約35	約45	64			
右 同	右 同	右 同	林 吉	戦時	戦時
右 同	右 同	右 同	順 泰	戦時	戦時
後發として進軍に向ふ	先發として吉林滿洲軍に向ふ	後發として吉林滿洲軍、八、一六、全員滿洲軍			戰鬥間の状況及損耗
七名名簿	一五名名簿	約一四〇名名簿			終戦後の人員變動
同 右	同 右	同 右			作業大隊より入「ソ」迄の變動
約28	約30	約32	約13	入「ソ」人員	除別計
無し	無し	無し	無し	滿洲殘	

部隊名 第一三八師團通信隊

通稱號

不動三七二六六

郵便所名

家小材器		(線有)隊小二第	(線無)隊小一第	部	本	別	隊
見士		中尉 青山	中尉 小宮山			隊長名	(内は先代を示す)
約35		約45	64		約13	戦時人員	
右同		右同	右同		林吉	平時	駐屯地
右同		右同	右同		順撫	戦時	
後方として各隊の要所を		先鋒として各隊の要所を	後方として各隊の要所を			戦闘間の状況及損耗	
七名召解		五名召解	約一四名召解			終戦後の人員變動	
同右		同右	同右			作業大隊より	
約28		約30	約32		約13	入ソノ人員	
						隊別計	
無し		無し	無し		無し	滿洲残留	
カラカランダ		カラカランダ	カラカランダ一六		カラカランダ	收容所名	
			32			所入	
			1			死亡	
						滿洲より領	歸還人員
						計	
			主力殘留			者	状況不明
						数	

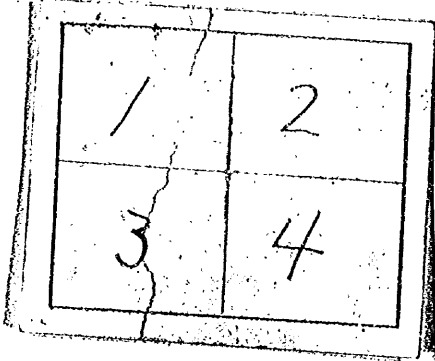
二〇、八、一、於て於て於て
 二〇、八、五、香山中隊
 二〇、八、一五、香山中隊
 二〇、八、一六、本隊隊
 二〇、八、一七、本隊隊
 二〇、八、一七、在浦原
 名解者約三十六名
 名解者の遺骨と死亡者等無
 二〇、八、二八、本隊隊
 二〇、九、五、本隊隊に奉
 大に移動す
 二〇、一〇、中、奥河津由
 二〇、一〇、中、奥河津由

239

部	第一小队 (線無)	第二小队 (線有)	器材小队
	中尉 小宮山 一分 二分 三分	中尉 青山	見士
約18	64	約45	約35
	右同	右同	右同
	右同	右同	右同
	後方として古林並隊 八、一六、全隊隊	先方として古林並隊	後方として推察に 七名名解
約18	約32	約30	約28
	同右	同右	同右
			無し

隊 小 材 器	(線 有) 隊 小 二 第	(線 無) 隊 小 一 第	部 本
見士	中尉 青山	中尉 小宮山 一分 二分 三分	
約35	約45	64	約13
右 同	右 同	右 同	※
右 同	右 同	右 同	※
後方として進軍に向	先登として古林を攻撃に向	後方として時林田後 へ、一六、谷原を掃蕩	
七名召解	五名召解	約一四名召解	
同 右	同 右	同 右	
約28	約30	約32	約13
無し	無し	無し	無し
カラカランダ	カラカランダ	カラカランダ一六	
		32	
		1	
		主力残留	

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

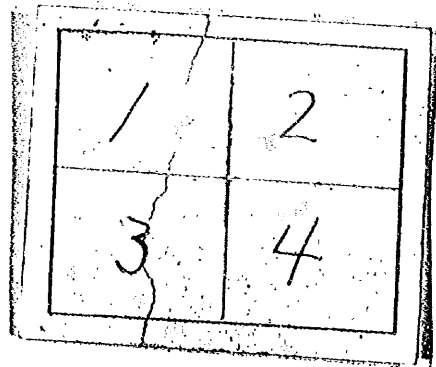
隊名	別	本部	第一隊中	第二隊中	第三隊中(馬)	第四隊中
輜重兵第一三三八聯隊	隊長名 (内は先代を示す) 少佐 國分 郡彦					田中
	開入 戦時 人員					
通稱號	駐屯地	山崎	右同	右同	右同	右同
	戦時 戦時 人員	順善	右同	右同	右同	右同
不動三七二七四	戦闘中の状況及損耗					
	終戦後の人員變動					
郵便所名	作業大隊より 入ソ返の變動					
	入ソ人員 隊別 計					
收容所	滿洲残留					
	收容所名 スインエフル ガラカンダ					
歸還人員	死亡 滿洲 より 領 計					
	者 數					
狀況不明						

(馬)隊中五第	(馬)隊中四第	(馬)隊中三第	(馬)隊中二第	(馬)隊中一第	部 本
		田 中			
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同

カラ
カン
ダ

分割撮影ターゲット

分割した
部分の
撮影順序



分割撮影
した理由

A 3 判 以 上 の た め

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

1424

1425

1426

1427

所 屬 三 〇 軍 部 隊 名 第一三八師團兵器勤務隊 通稱號 郵便所名

全般概要		轉入	轉出	員人編編	隊別	隊長名	開入	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ返の變動	入ソ人員	隊別計	滿洲殘留
二〇、八、一五、陸軍 陸軍にありて作務隊中終 戦に至る、井上曹長以下一 五名奉天に兵器交還に赴き 歸隊せず 開戦時人員一七名 曹長 二 下士官 二五 兵 九〇 二〇、八、二九、武蔵、在 陸軍に約一〇〇名召解 送、下士官五 名、後新地に收容す 二〇、九、六、奉天に移送 奉天三九六に全員編入 二〇、九、一七、奉天發見 河野曹入「ソ」		十九年以降	十九年以降	112	本 部	中尉 井口 明 (内は先代を示す)	時 戦	石 磐	右 同					
					第一小队		時 戦	順 盤	右 同					
					第二小队		時 戦		右 同					
					第三小队		時 戦		右 同					

カラカンダ

112				資人制編
小 三 第	隊 小 二 第	隊 小 一 第	部 本	別 隊
				隊長名 (内は先代を不す 中尉 井口 明)
				開入 戦時 時員
				駐屯地 平時 戦時
				戦時間の状況及損耗
				終戦後の人員變動
				作業大隊より 入ソ迄の變動
				入ソ人員 隊別計
				満洲残留
				収容所名 ハルビン カラカンダ
				所人 死亡
				満洲ソ領 より計
				歸還人員 計
				状況不明 者数

部隊名 第一三八師團兵器勤務隊

通稱號

郵便所名

二〇、八、一五、陸軍

二〇、八、八、陸軍

二〇、八、一五、陸軍
空軍にありて作戦遂行中
陸軍に至る、非上列以下
五名奉天に兵隊交際に
別動隊人員一七名
下士官 二五
兵 九〇

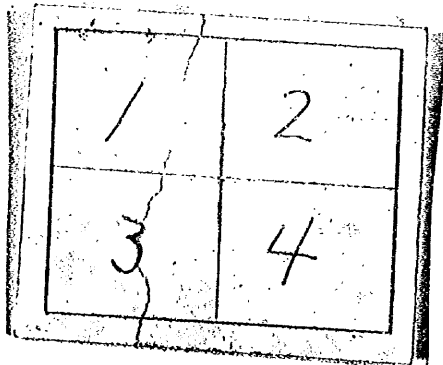
二〇、八、二九、陸軍、在
隊員約一〇〇名、在
隊、下士官五
武庫後新屯に收容せら

二〇、九、六、奉天に移送
奉天三九六に全隊編入

二〇、九、一七、奉天發見
河津由入」ノ」

本 部	第 一 小 隊	第 二 小 隊	第 三 小 隊	第 四 小 隊
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1428
1429
1430
1431

屬所

三

○

軍 部隊名

第二三八師團衛生隊

通稱號

不動三七二六八

郵便所名

全数概要		轉入 十九年以降		轉出 十九年以降		員人編		別 隊		隊長名 ()内は先代を示す		戦時 人員		駐屯地		戰鬥間の状況及損耗		終戦後の人員變動		作業大隊より 入ッ迄の變動		入ッ人員 豫別計		滿洲殘留	

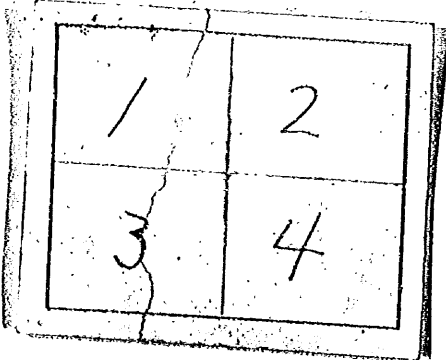
部隊名 第二三八師團衛生隊

通稱號 不動三七二六八

郵便所名

編制人員	隊別	隊長名 (内は先代を示す)	開人 戦時 平時	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入ソ迄の變動	入ソ人員 隊別計	満洲残留	收容所名	收容所 所人 死亡	満洲ソ領 より	計 人員 歸還	状況不明 者数

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

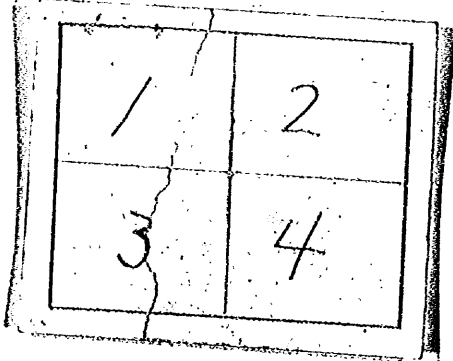
1432
1433
1434
1435

全般概要		番号
轉入 十九年以降		軍部隊名
轉出 十九年以降		
編制人員		第一三八師團第一野戰病院
別隊		
隊長名 (内は先代を示す)		通稱號
戦時	戦時	
平時	戦時	不動三七二六九
戦時	戦時	
戦闘間の状況及損耗		郵便所名
終戦後の人員變動		
作業大隊より入ソノ迄の變動		入ソノ人員
隊別	計	
満洲殘留		郵便所名
收	名	

部隊名 第一三八師團第一野戦病院 通稱號 不動三七二六九 郵便所名

降		編	人員	
別		隊	人員	
		()内は先代を 示す	隊長名	
時		戦	個人	
時		平	駐	
時		戦	屯	
時		戦	地	
		戦闘間の状況及損耗		
		終戦後の人員變動		
		作業大隊より 入「ソ」迄の變動		
隊別		入「ソ」人員		
計				
		満洲殘留		
收		收		
容		容		
所		所		
名		名		
死		死		
より		より		
より		より		
計		計		
者		者		
数		数		

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1436
1437
1438
1439

全般概要		属所	
轉入 十九年以降		三〇	
轉出 十九年以降		軍	
員人調編		部隊名	
別隊		第一三八師團防疫給水部	
隊長名 (内は先代を示す)		通稱號	
開入 戦時 駐屯地		郵便所名	
戦時 平時			
戦時			
戰鬥間の状況及損耗			
終戦後の人員變動			
作業大隊より 入「ソ」迄の變動			
入「ソ」人員			
除別計			
滿洲殘留			
收			

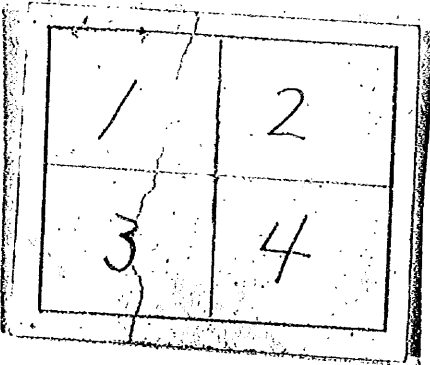
部隊名 第一三八師團防疫給水部

通稱號

郵便所名

員人別編		隊長名 (内は先代を示す)		戦時 戦時		駐屯地		戦闘間の状況及損耗		終戦後の人員變動		作業大隊より 入ソ連の變動		入ソ連人員 除別計		満洲残留		收容所名		收容所 死亡		満洲より 領計		状況不明 者数	

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1440
1441
1442
1443

所

三

〇

軍 部隊名 第一三八師團第四野戰病院

通稱號

郵便所名

全般概要		轉入		轉出		人員編		隊 別		隊長名		戰時人員		駐屯地		戰鬥間の狀況及損耗		終戦後の人員變動		作業大隊より		入「ソ」人員		滿洲残留		收	
十九年以降		十九年以降		人員編		別		()内は先代を示す		時員		平 時		戰 時		戰鬥間の狀況及損耗		終戦後の人員變動		入「ソ」迄の變動		隊別		計		收	

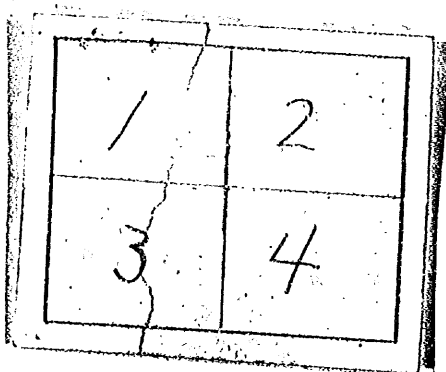
部隊名 第一三八師團第四野戦病院

通稱號

郵便所名

員人編織	
別 隊	
隊長名 (内は先代を不す)	
時員	器人
平	駐
時	屯
戦	地
時	
戰鬥間の状況及損耗	
終戦後の人員變動	
作業大隊より 入ッ返の變動	
隊別	入ッ人員
計	
滿洲殘留	
收容所名	收容所
所人	
死亡	
滿洲より	歸還人員
領計	
者數	狀況不明

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

1444
1445

所 属
三 〇 〇 〇 〇
軍 部 隊 名
第一三三師團病馬廠
通 稱 號
不動 三七二七六

郵便所名

1446
1447

全般概要	轉入	轉出	員人編制 別 隊	隊長名 ()内は先代を示す 職中尉 後藤捨夫	開入 戦時 約240	駐屯地 平時 吉 林 戦時 順 撫	戦斗間の状況及損耗	終戦後の人員變動 九、一五、石解約六六名	作業大隊より 入「ソ」迄の變動 九、一八、奉天四一大へ PDより一四名編入	入「ソ」人員 隊別 計	滿洲残留	収容 カラオ タ
	十九年以降	十九年以降										
<p>二〇、七、一〇、編隊下令 二〇、七、三一、於吉林編 完 二〇、七、八、吉林に於て 在滿陸軍各八名と中文警察 部隊約三〇名を基幹とし現 地陸軍各二〇名を以て編 成 二〇、八、二三、奉天に向 け移動 二〇、八、一五、停戦を知 り部隊長編隊して現地陸軍 各(陸軍)を召解す、殘 留約八〇名 二〇、九、一〇、武解獲取 二〇、九、一五、奉天移送 (一四名のみ) 二〇、九、一八、奉天四一 大へ 二〇、九、下、黒河經由入 入</p>												
112												

部隊名 第一三八師團病馬廠

通稱號 不動 三七二七六

郵便所名

員人編		別 除		隊長名 (内は先代を示す) 殿中尉 後藤捨夫		戦闘間の状況及損耗		終戦後の人員變動		作業大隊より 入「ソ」迄の變動		入「ソ」人員		満洲残留		收容所		歸還人員		状況不明者数	
約240		平 時 戦 時		駐 屯 地				九、一五、石解粉六六名		九、一八、奉天四一六、PD二一四名編入		隊別 計				カラカシダ		より満洲より領計			
林 吉		順 遂																			

										三〇、七、三一、於右等處 完
										二〇、七、八、吉林に於て 其地歴名を八名と申す然 るに其地歴名三〇名を以てし現 在に於て二〇名を以てし 或
										二〇、八、二三、嶺南に向 て移動
										二〇、八、一五、停戦を知 り部隊長等にて現地歴名 者(徐基等)を召解す、現 在に於て八〇名
										二〇、九、一〇、武解縣取 り
										二〇、九、一五、奉天移送 一四名のみ
										二〇、九、一八、奉天西一 人
										二〇、九、下、墨河經南入 り
										112
										約24
										茶
										順

第24

第

第